



株式会社キミカ 第4回ジャパンSDGsアワード

特別賞受賞報告書



(写真：首相官邸にて)

株式会社キミカは、
2020年12月21日、総理大臣官邸において
第4回ジャパンSDGsアワード特別賞(SDGsパートナーシップ賞)を
受賞致しました。

本賞は、SDGs推進本部(本部長:総理大臣、副本部長:官房長官・外務大臣)が主催し、
SDGsの達成に向けて優れた取り組みを行う
企業団体を表彰する制度です。

ここに受賞をご報告するとともに、
皆様のお力添えに心よりの御礼を申し上げます。



みなさまのご支援に心より感謝いたします

創業者 笠原文雄は、海岸に漂着し、なにも利用されることなく朽ち果ててゆく海藻に着目し、資源として有効活用することを目指しました。そして天然の食物繊維「アルギン酸」を抽出、仲間とともに電力・熱源の使用を最低限に抑えた製造方法を開発しました。更に、抽出したあとの海藻残渣には鋳造粘結剤や飼料、肥料としての活路を見出し、アルギン酸の工業化を成功に導きました。



創業者 笠原文雄

以来80年間、わたしたちはアルギン酸の世界的パイオニアとして産業界をリードし、Best in the Worldを旗印にその用途開発に取り組んで参りました。今やアルギン酸は食品・医薬・化粧品その他幅広い分野で利用され、人々の健康で豊かな生活に不可欠な素材になりました。

南米チリの海藻産地においては、現地に加工備蓄基地を設けて乱獲を防ぎ、安定調達と海藻資源保護、漁民の生活安定に大きな役割を果たしています。チリプラントでは海藻残渣を肥料にしたブドウ栽培に取り組み、千葉プラントの屋上には太陽光発電パネルが敷き詰められています。

この度、こうした創業以来続けてきたサステナビリティ課題に対する弊社の取り組みが「国際的なロールモデルとなる」という評価を受け、受賞の栄に浴することが出来ました。ジャパン SDGs アワードはSDGsにおける日本の最高賞です。過去の受賞団体をみると、非営利団体や大企業、もしくは環境保護や慈善事業が本業に近い企業ばかりです。

日本企業の9割は中小企業です。SDGsの達成には、われわれ中小企業による取り組みが極めて重要となります。株式会社キミカは、栄えある受賞企業の名に恥じない一層SDGsを推進すると共に、取り組みの輪を広げる努力を続けてまいります。

代表取締役社長
薬学博士

笠原文雄

「英知を結集して行動した結果であり、大変感銘を受けました」

第四回ジャパン SDGs アワードの受賞、誠にありがとうございます。

SDGs推進円卓会議の構成員の皆様の御尽力に心から敬意を表する次第でございます。

本日受賞された皆様を始め、今回応募のあった取組は、いずれも多様な方々が英知を結集して行動した結果であり、大変感銘を受けました。

本年は、持続可能な開発目標の達成に向けた、行動の10年の最初の年です。



私が目指す、経済と環境の好循環に支えられた、ポストコロナの新しい社会をつくり上げていく上でも、更なる取組が大変重要だと考えています。皆様の取組を契機に、より多くの人々が団結して行動し、目標達成に向けた取組が一層、加速されることを期待して、私のお祝いの挨拶とさせていただきます。

内閣総理大臣
菅 義偉

(写真：首相官邸にて)



株式会社 キミカ
www.kimica.jp/

本社 東京都中央区八重洲2-4-1 〒104-0028 Tel. 03-3548-1941 Fax. 03-3548-1942 E-mail: tokyo-office@kimica.jp
大阪営業所 大阪市淀川区西中島3-23-16 〒532-0011 Tel. 06-6300-1310 Fax. 06-6300-1306 E-mail: osaka-office@kimica.jp
千葉プラント 千葉県富津市大堀1029 〒293-0001 Tel. 0439-87-1131 Fax. 0439-87-3613 E-mail: chiba-plant@kimica.jp